五月十一日　夕刊

日刊但シ日曜祭日ノ翌日休刊　一ケ月廿五錢
郵税十五錢一部二錢
廣告料　一行四十錢
場所指定　二十錢增
發行兼編輯印刷人　平谷政喜
發行所　福島縣平市大町二三　新いわき新聞社

四倉漁港の第二期工事愈よ着手

來る二十六日に鍬入式

石城郡四倉漁港第二期工事は驛當で石城に來郡々南の蛭田川から同郡の中小河川（目下工事中のもの及び今後施工のもの）へ中間檢査を縣土木課から出張の松浦技師、加藤技手及び田中平土木監督所長と共に十三日に至る二日間行はれたが右の河川は次の如く爾後双葉、相馬兩郡に向ふ由

▲蛭田川　鮫川　釜戸川　滑津川　新川　宮川　好間川　夏井川

餡屋の小僧家出

石城郡植田町字台町一六製餡業山本勝壽方雇人郡山市兵庫田五八遠藤己之次郎二男登（一八）は去る四日午前六時頃無斷家出行方不明となつたが最近平市に於て同人を見受けたものがあるので多分同一業を營む方に居るだらうと今十一日雇主の山本から平署に捜索方を願出た

大麥檢査實施　請願の要旨

石城郡に於て大麥の縣營檢査實施を要望してゐることは曾て報導の如く同郡穀物共同受檢組合聯合會に於て明十二日の總會に諮り縣に向つて右實施方を請願の筈であるが同請願の趣旨は次の如くである

本郡大麥生産額は銃後食糧增産計畫を契機として本年作付反別二千百二十餘町歩に達し收穫豫想高六萬三千六百餘石の增産豫想に至り産米に次ぐ農家の主要産物たり、然るに之が販賣處理狀況に有りては極めて不合理なるのみならず從來の慣習に依る燒麥撰別を爲すもの未だ多く商品價値を損傷するもの依然として少なからず之れが爲め生産者の蒙る不利益寔に大なるものあるに鑑み本會は昭和十年度より大麥類別鑑定事業を實施せるに不拘受檢數量極めて僅少なるは甚だ遺憾とする處なり、由來本郡は大麥の産地にして其の總生産額中の四割を販賣するを以て其の販賣方法の如何は直接生産者の利害に至大の關係を有する處なるも右販賣數量の大半は無檢査の儘販賣するの現狀にかんがみ而して例年の取引狀況を觀るに無檢査ものと檢査濟との一俵當り平均五十錢また隣縣茨城地方取引相場に比較するに實に俵當り一圓の値開きあるを常例とする處にして要するに縣營檢査事業の缺如するに職由する所なり、以上の如くにして生産者の蒙る收入減甚なるもの有り加之延ては品質の改良を阻害すること夥しきものあるに鑑み茲に本會は强制的縣營檢査の施行方を縣當局に請願し之れが實現を期し以て農村經營增進に寄與致したき主旨に依る（云々）

平市小學校職員　軍人遺家族慰安

平市内四ケ小學校職員百名は今十一日午後一時から市内平館に軍人遺家族三百餘名を招き右職員一同の出費で映畫の無料觀覽と茶菓の饗應をなし午後四時まで慰安をなした

税務協會總會

優良吏員を表彰

平市及び石城郡税務振興協會では來る十三日、十四日の二日間（午前九時から）平署の會議室に於て總會を開催、決算及び豫算を附議し十三日は優良市町村吏員四十四名の表彰をなすと

▲上下川書記草野孝七　江名收入役吉田茂左工門　同書記丹野由雄　元植田書記赤津龍松　飯野收入役永山菊治　小名濱書記長瀬國三郎　同收入役樋口速　同書記佐藤軍次　平收入役西野源次郎　同書記渡邊美登　四倉書記木田雅風　勿來收入役赤津傳五兵衛　同書記楠田昌男　湯本書記小島榮　内郷收入役齋藤彌一　同書記野木安吉　上遠野收入役鈴木爲之助（以上）

災害工事査定

石城郡内に於ける去る九年度から十、十一年度に至る災害工事に對し内務省大軒屬出張八、九兩日査定を行ひ石川郡方面に向ふ

馬匹鍛錬會

平市外内郷、飯野二ケ村聯合軍用候補馬鍛錬會では來る十五日午前八時から平市八幡小路磐中舊グランドに於て鍛錬會を開催されるが出場馬匹四十餘頭の由

國民健康週間

實施事項打合せ

平署では來る十七日からの國民健康週間に於て宣傳ポスターその他ビラ撒布等をなす筈だが來る十三日午後一時から實施事項につき同署會議室で打合せをなすと

常識講座

シナリヲは映畫の台本または筋書のことだ、シナリオライターと云へばそれを作るもの映畫脚本作者の意で此の意味から政界の動きなどに陰にゐるシナリオライターはなどと云ふ如くであるが正午閉會の豫定後歡談滿開の松ヶ岡第一公園に折詰晝食を擧ねた簡素な懇親會を催される筈である、因に表彰される優良生産者は左の如くである

▲米の部…平七平窪高田新吉　植田町八代正雄　神谷村吉田龜吉　山田村北鄉要　草野村宇佐見音次郎　大浦村鈴木兵衛　高久村田中久義　大野村村上喜長　同木村德治、飯野村須藤庄五郎　小川村吉田金彌　勿來町安島清吉　渡邊村久保木重雄　好間村鈴木角太郎　玉川村草野龜松（以上十五名）

▲小麥の部…磐崎村大井川和雄　勿來町荒川藏吉　泉村渡邊丈（以上三名）

▲菜種の部…草野村山邊多三郎　夏井村阿部金一郎　錦村星德次郎　大浦村薗部久太郎（以上四名）

戰地の便り　春とは名のみ未だ嚴寒去らず

磐中出身　佐藤初太郎

拜啓、初春の候皆々樣御變りなき事と御推察申上候、小生變りなく益々元氣、御安心下され度候、中支湖州出發〇月〇〇日、上海〇〇〇日、大連〇〇〇日出發本天經由にて北支、天津の先き〇州に到着〇月〇日）奥地の〇〇（約二十里、敗殘兵討伐の目的にて出發致すべく候、當地は春とは名のみ未だ嚴寒まり難（三月六日）候へども幸ひに防寒具の支給あり何の不自由もなく候間御安心下され度候、此の後とも自重益々皇軍の爲め奮闘致すべく候、皆々樣時節柄御身御大切に願上候、

御無沙汰は御用赦

磐中出身　山田均

謹啓、初春の候と相成候處皆々樣には御壯健にて御暮らしの事と存上候、快別以來軍務多忙とは申せ永の御無沙汰平に御用赦下され度候、小生出征の節は多大なる御厚情に接し尚ほ留守中は位くれと御世話樣に相成り厚く御禮申上候、小生も御蔭樣にて其の後無事軍務に精勵致し居り候間乍他事御休心下され度候、先づは候皆々樣によろしく願上候

御誂ひも既製品も
高島屋洋服店
平二電三八六

人絹合宿所から　洋服ドロ

藤よしの出前持

平市二丁目二一飲食店藤よし事加藤字之吉方雇人宮森縣北津輕郡五所川原下平井町生れ山内武三郎（二四）は本年一月石城郡錦村の昭和人絹に雇はれ同工場に働いてゐる二月一日午後十時頃同所合宿所に於ける不在を奇貨とし二十九號室内眞壁正己所有の黒セル三ツ組洋服價四十五圓の外ワイシヤツ及び革靴その他五十六圓二十錢に相當する品を窃取し行方を晦まして前記藤よし方の出前持ちとなり素知らぬ顏でゐるところを平署に檢擧取調べの上今十一日送局さる

謹告

妻の不幸に遇ひ永らく休業狀態を續け御迷惑相掛け恐縮罷在候處本月五日より平常通り診療に從事一層精進可仕候間何卒倍舊御引立の程奉懇願候

平市田町　敬具

中野齒科醫院
中野恵次

女子事務員、看護婦、募集

回女子事務員一名（受付及會計係）
…高女卒業者、給十五圓以上、住込み…
回看護婦五名（給十圓以上）

右大至急募集致します

茨城縣助川町新道
常陸　助川病院
電話五一番

今有利な副業は何か

(1)　乾燥野菜に藁工その他種々

非常時局の際副業で役に立ちたいと云ふ希望が全國的に漲つてゐるので其の爲め農村の工業乃至は副業と云つたもの、生産高は事變前より却つて增加してゐるものと見られてゐる、そこで事變にをどる副業は何が最もよいか東都農村工業品販賣所主事三宅治一氏の語るところを上げると次の如くである、

一、先づ藁工品は最も適當なものに屈指されるのであるが案外農民から等閑に付されてゐる、だがこれが軍需的に大きな需要があるばかりではなく平時にありても包裝、荷造りに缺くべからざるもので而かも需要は無限と云つてもよい現在叺一枚(七百匁のもの)が二十二錢内外で平年より四、五錢高く、繩(機械仕上げ)は一貫目十八錢から十九錢でこれまた三、四錢高である、荷造り繩は從來七、八錢(一枚)であつたものが十二錢と云ふ上り方である、元來水田一反歩で二石五斗の米が收穫出來た場合には大体百三十貫の藁がとれる、このうち三十貫は藁「はゞき」や屑であるから藁細工には百貫の藁が利用出來ることになる、

一、これで一枚五百匁の叺を造ると一日枚になるからこれを一枚二十錢相場にすると四十圓であるから裕に米一石分の收入となるわけである、いま一日に一軒の家で夫婦と子供一人で叺をつくるとして見やう。

◇一般印刷物も御引受致します
新いわき新聞社印刷部

自慢の品良優も豚も牛
平市町
肉の御用命は
三一三一

婦人保護
婦人保護

外科一般　内臟外科
レントゲン科　泌尿器科
晝夜診療
北川外科
(血液檢査毎日)
イツデモ入院デキマス
醫學博士　北川芳夫
技師　三浦常保
平市新川町二七(電四六四)

春の洋品オンパレード
現代の粋を集めた
パラソル
殿方趣味百%の
アウテイング・シャツ
とネクタイ
斷然ニュースタイル!!
中折帽子
鳥打〃
可愛らしいお子様方の新流行の
子供帽子と
春の子供洋服
四〇四一
平電
ヤルツ

デーリー・サービス
特にマルトモのランチは…
材料のおまかせを賴つて居る爲め其の節々のおいしい新鮮な物を御滿足出來ますので御常客樣からいつも御好評を戴いて居ります
御來店御召上りの時も御客樣自身御覽になつて御値段を御示し下さつておまかせ願へますれば季節〳〵の材料で手時快適なものを調理仕上御客樣をすのでとまた非常に御好評で御座います

日	品目	定價	品目	定價
月	カツレツ	三〇	チキンライス	三五
火	ポークチャップ	三五	カツ丼	三〇
水	エビフライ	三五	ハヤシライス	三〇
木	メンチボール	三五	ナムライス	三〇
金	コロッケフライ	三〇	ハムライス	三〇
十	ビーフテキ	三五	カレーライス	三五
日	ランチA	四〇	〃の一割引にてさせます	
〃	ランチB	五〇		
〃	ランチC	六〇		

RESTAURANT MARUTOMO
マルトモ食堂
平市停車場通
電話一二三

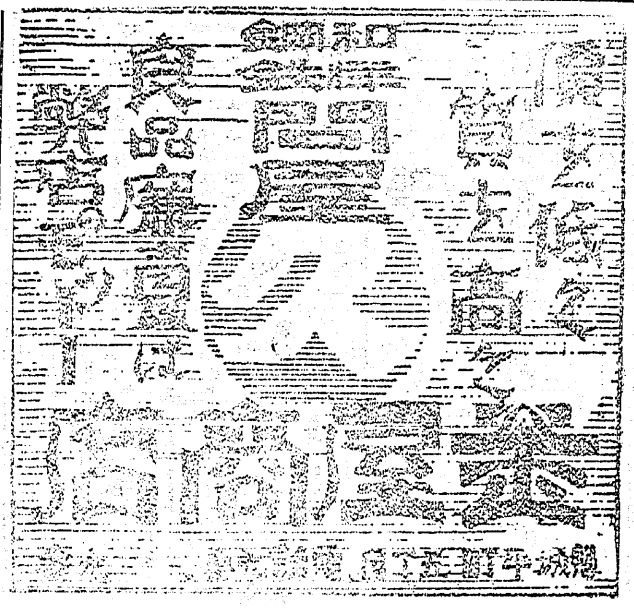
病室增築、手術室完備
産科　醫學博士
婦人科　五十嵐雄二
平市新川町「電話三六九番」

食事。
喫茶。
酒場を兼ねた。
レストラン
サロン
平田町
電二五三

國民精神總動員
日本國民必見の書……
內閣情報部發行
寫眞週報
1部10セン
お取次致して居ります
平二　局藥屋村西　電三

便利で經濟な
日下家政婦會の
派出婦を御利用下さいませ
身元確かで品行方正ですから何をお任せしてもご安心です
平市田町十八(西村屋横町)
日下家政婦會
會長　日下すい子
電話七一三番
會員(同志)の御加入を御誘ひ致します
派出なき間暇に裁縫や編物を御教授致します

今般副院長として高橋俊幸氏を招聘し「內臟外科・一般外科・皮膚泌尿器科」の診療に從事せしむ
平病院
(平市元共濟病院跡)
(電話六四一番)
院主　院長　醫學博士　鈴木定藏
內科　院長　鈴木定藏
小兒科　部長　佐藤幾要司
內臟外科　一般外科　皮膚泌尿器科　副院長　高橋俊幸
レントゲン科　物理的療法科　部長　鈴木定藏
藥劑科　部長　古川元雄
診療時間……毎日午前八時より午後九時まで夜間診療に從事す(急患は此の限にあらず)
吉本孝平



一、齒科一般
保存科、補綴科、齒齦科、齒列矯正科、小兒齒科、齒科放射科
目科療診
一、口腔外科
一、レントゲン科
平市田町
(松月堂向ひ)
中野齒科醫院
院長　日本齒科醫學士　中野恵次
日本齒科醫學士　西川誠
電話五〇九番